



代表取締役社長
佐々木 英樹



事業領域の拡大と効率化を追求し、
サステナビリティ経営を浸透させて
トピアグループの企業価値を高めてまいります。

持続的な成長の先にある「ありたい姿」を明確に

2024年、トピアグループは初めての「サステナビリティレポート」を発行しました。レポート発行を通じて私が目指したのは、ESG の視点の中でも特に環境重視を経営課題の中心に据えたトピアグループのポリシーをステークホルダーの皆様到的確かつ丁寧に伝えていくことでした。そこにはグループ内だけでなく、地域社会に対してもトピアグループの考え方や取り組みを発信したいという想いがありました。

本年の米国新政権発足後、トピアグループを取り巻く経営環境は大きく変化しています。とりわけ米国政府による関税引き上げ問題に関しては、国内および中国拠点におけるコスト競争力の低下が危惧されます。これに対し、米国における新たなサプライチェーンを構築するなどグループ一体となって対応策を検討しています。

また、このような環境の変化への対応などの原点となるサステナビリティ経営の考えをさらに浸透させる取り組みを進めています。トピアグループは、「豊かな未来の実現に向けて 変化・要求に挑戦し続けます」をパーパスに掲げています。今年度はこのパーパスおよび経営理念に加え、グループ内向けにMVV（ミッション・ビジョン・バリュー）を新たに策定しました。企業としての存在意義や目指す姿、価値観を明文

化するとともに、その理解と浸透を図っています。これを契機にグループ全体で共有しトピアグループの「ありたい姿」についての対話を深め、将来に向けた方向性と社会的な存在意義を一層明確化していきたいと考えています。

4つのマテリアリティへの取り組みから、成長と安心を追求

トピアグループでは、変化する事業環境に果敢に対応しサステナビリティ経営を実践していくために、解決すべき4つの課題「マテリアリティ」を特定しました。それぞれのテーマに対してKPI（重要業績評価指標）と2030年度をターゲットとした中期目標を設定し、推進しています。

具体的には、①脱炭素社会に向けたCO₂削減や再生可能エネルギー比率等の目標、②循環型経済の実現を目指した廃棄物発生量の削減目標、③安全かつ高付加価値な製品提供として、従業員一人当たり付加価値額の目標値、④成長と安心を感じられる職場環境の実現に向けた、女性管理職比率、男性育休取得率などの定量目標を設定しています。このマテリアリティとKPIは、製造業であるトピアグループ独自の視点から特定したものです。

マテリアリティへの取り組みとサステナビリティ経営を実践する中で、トピアグルー

トップメッセージ

トピアが目指すのは、持続的な成長とそれによってもたらされる雇用や暮らしの「安心」です。物価高や賃金上昇など経済環境が大きく変化する中、グループ一丸となり課題に真摯に向き合い、目標達成に向けた取り組みを着実に進めることで、持続可能な社会に貢献していきます。

多様な人財の力と技術伝承で、次世代の成長を切り拓く

トピアグループは持続的な成長に向けて、効率性と省エネルギーの追求に全力で取り組んでいきます。これはマテリアリティ②「循環型経済への貢献」に基づき、資源を無駄なく有効活用し、産業廃棄物の削減を通じて、自然環境への負荷を軽減する社会の実現に向けた取り組みを推進しています。具体的には、欧州におけるセキュリティや環境規制など、常に変化する要求事項を正確に把握し、迅速に対応できる体制の整備を進めています。

持続的な成長を図っていく上で人財の獲得と育成を重要な課題の一つと位置づけています。人財不足や少子化などの外部環境の影響を踏まえ、マテリアリティ④「成長と安心を感じられる職場の実現」に向けて、機動的に対策を推進していきます。特に次世代を担う優秀な人財の育成は不可欠であり、新入社員に対しては独自の育成プログラムを通じて、トピアグループの特徴や技術の理解を深めることに全力を注いでいきます。

また、今後の目標達成に必要な中堅人財については、社内での育成に加え、即戦力となる社外人財の獲得や外部との連携など多様な手段を活用して強化し、組織力を高めてまいります。さらに、海外人財や高齢者の方々の積極的な活用にも取り組んでいます。特に高齢者が、トピアグループ内で長年にわたり培ってきた経験や、技術、知見に加え、グループ外の知見も、次世代を担う若い人財に確実に継承し、組織としての力へ昇華させていく考えです。

持続的な企業成長を図っていくため、引き続き設備投資を積極的に実施していく考えですが、将来の成長のためには前述した人財への投資が極めて重要であるとの認識のもと、今後、従業員が成長を実感し、安心して働ける居心地の良い職場を実現するための施策を講じていきます。

収益基盤の強化とサステナビリティ経営で、「ありたい姿」の実現へ

私たちトピアグループは、自動車を中心とした試作品一つひとつをお客様のニーズに合わせて製作し続ける企業です。現在は海外7か国に9拠点を有し、グローバルに事業を展開しています。変化し続けるお客様のニーズを的確に捉え、様々な課題に積極的に挑戦しこれらを具現化することで、独自の加工・接合技術を磨きあげてきました。最先端の設備を駆使して高品質・高難度の製品を提供し、現在では自動車メーカーの新規ライン構築において、あらゆる工程をサポートすることができます。これらがトピアグループの大きな強みとなっています。

トピアの原点は試作です。長年にわたる確かな実績と経験を最大限に活かし、試作から小ロット生産、そして量産へと事業領域を拡大し、着実に収益拡大を目指していきます。さらに、自動車から半導体などへ事業分野を広げ、これから世の中が必要とする成長分野において事業を拡大させるとともに、新たな技術と素材開発に取り組み、実績を積み重ねていきます。

こうした事業領域と事業分野の拡大を図ることによりグループの収益基盤を強化し、経営陣と社員が一丸となったサステナビリティ経営の実現、そしてトピアグループの「ありたい姿」の実現に向けて取り組んでいきます。

本レポートを通じ、ステークホルダーの皆様に対し情報を発信するとともに、今後ともトピアグループの事業活動に対しご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

